

# にほんごコミュニケーション

よこはま日本語学習支援センター ～横浜 × 日本語 × 多文化共生～

## 特集

### 就学前の子どもと親の支援

- 外国人親子日本語教室を行いました！
- 支援者向け 各種リソースの紹介

横浜で暮らす外国人トークリーダー

第4回：レガ スレンデルさん

連載記事

～コロナ禍における活動の変化・生活の変化～

第4回：国際交流ラウンジでの取り組み



## 第4弾!

# 横浜で暮らす外国人 トークリレー

外国人のみなさんに、

生活の中での日本語との関わりについて話していただくコーナーです。

最近、日常生活でも外国の方と接する機会が増えてきました。

今回は、お互いが名前呼び合える友達となるような"住みよいまちづくり"のため、

さまざまな活動をしているレガさんにお話をうかがいました。



### Profile

レガ スレンテルさん (インド)

日本在住歴：2年 開発エンジニア

電子系の会社で開発・品質管理などの仕事をしながら、緑区にある霧が丘インターナショナルコミュニティ(KIC)\*で、外国人と日本人をつなぐ役割を担っているレガさん。ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。(聞き手：T)

\*KIC：2016年にできた緑区霧が丘の国際交流グループ。楽しい行事を通じて友達になることで、お互いが住みやすいまちになることが目的です。

### 日本に来た理由を教えてください

仕事をするために、2年前に日本に来ました。来日前は日常会話ができる程度でしたが、「日本で仕事したい!」という強い思いと明確な目標があったので、来日後1年で就職面接を受けられるほどの日本語力が身につきました。今の職場で外国人は自分だけですが、分からないことばを教えてもらいつつ、日本語で仕事をしています。

### どのように日本語を勉強してきましたか?

日本に来て最初の1年は、日本語学校に通いました。1日4時間会話の授業などを受け、最終的には就職の準備のため、社会人が使うことばについても学びました。また、当時から日本語学校以外にも、地域の日本語教室に通っていました。現在も仕事

をしながら日本語教室に通い、日々勉強中です。

最近、翻訳ツールを活用しながら、漢字の意味と単語の意味をつなげて覚えるような勉強をしています。最近の例では、「たんじゅん」という単語の意味が分からず翻訳ツールを使ったところ、「単純」という言葉には「簡単」の「単」の文字があったため、意味が何となく分かりました。

### 住んでいる地域について教えてください

私が住む緑区霧が丘には、かなり大きなインド人コミュニティがあります。地域内にインド人学校もあるため、日本語が分からなくても、そこで生活が完結してしまいます。ですが、私のように日本語を勉強したい、日本人と交流したい、と思っているインド人はたくさんいます。

そのような人たちと地域をつなげるため、半年ほど前からKICのメンバーとして活動を始めました。最近はコロナの影響でイベントは開催できていませんが、今後は日本のお祭りにも参加するなど、地域交流の促進を図りたいと思っています。インド人はお祭りが大好きなのです。

### KICでは、どのような活動をしていますか?

大きく分けて2つあります。1つ目は、地域に住む外国人の困りごとをサポートするような取り組みです。現在、日本語教室や各種相談機関の情報、さらにはどうやって相談すると良いかなど、生活に役立つ動画を作成しています。今後YouTubeにアップするなど、より多くの外国人に見てもらえる工夫をしていきたいです。2つ目は、地域のイベントへの参加です。日本人住民と共に公園の掃除を行うことで、ごみの分別方法を知りました。今は、それをどのように外国人に教えるか、考えています。

### 今後挑戦したいことはありますか?

日本人の若い世代、特に学生と交流したいと思っています。交流のプログラムとしては、数学とヨガを組み合わせたものを考えています。

インド数学の考え方は日本人の学生にも興味深いと思います。例えば、99×99の掛け算の暗算や、手で数字を数える際の指の関節を使って数えることなどが特徴的です。また、驚かれるかもしれませんが、インドでは学校で毎朝ヨガを行います。勉強のストレスが解消され、頭も体もリラックスできるので、学生にはとても良い効果があると思います。

# コロナ禍における活動の変化 生活の変化

## 第4回：国際交流ラウンジでの取組み

◆なか国際交流ラウンジ  
◆都筑多文化・青少年交流プラザ



新型コロナウイルスの感染拡大から約1年が経ち、新たな取組みに挑戦する地域の日本語教室も多いようです。市内10か所にある国際交流ラウンジ\*でも、独自の工夫が行われていました。今回は、2つのラウンジの状況をご紹介します。

\*国際交流ラウンジ：地域の国際交流・多文化共生の活動拠点。日本語学習支援に関しては、日本語教室の開催、学習者への教室情報の提供、研修会の実施、区内日本語教室間の連携促進などを行っています。（注：活動内容は国際交流ラウンジによって異なります）

### 日本語教室：ICT教材を活用したオンライン教室 なか国際交流ラウンジ

新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、2021年1月より、なか国際交流ラウンジ主催の日本語教室は、すべて対面からオンラインに切り替えました。

（2021年4月以降の開催方法は未定）この取組みが皆さまの参考となるよう、教室内部の様子をご紹介します。

#### 〈オンラインでの活動方法を模索〉

オンラインでの教室活動は初めての試みで、活動に不安を感じるサポーターもありましたが、試験的に教室を開催したり、スタンプで意見交換会を行ったりしながら、オンラインでの形を模索しました。教室では、WEB上で提供された動画教材も活用しています。動画を観ながらの学習はとても効率良く、学習者もより理解が深まるようです。

#### 〈教室活動後は勉強会を実施〉

教室が終わるたびに、サポーターによる勉強会を開催しています。成功事例はもちろん、上手くいかなかったことも共有し、より良い教室になるよう心掛けています。具体的には、通信トラブル時の対応方法や学習の進め方、教材情報の共有などです。このような振り返りを行うことにより、新しい教室活動にチャレンジできるような環境となっています。

#### 〈オンライン活動での学習者の変化〉

オンライン教室の開催により、子どものお迎えがある、仕事で時間がとれない、海外にいて日本に戻れないなど、これまで参加が難しかった人も参加できるようになりました。（図1）時間や場所の制約が少なくなったのは、オンライン最大のメリ

ットだと言えるでしょう。

#### 〈オンライン教室の今後〉

ウィズコロナの時代に入し、より多様な支援の形が必要とされています。今後も、区内外のサポーターどうしの情報共有を密にして、より良い日本語教室となるよう努力していきます。

〈図1〉オンライン教室のメリット

お迎え時間を気にせず参加できた

在宅勤務の合間に参加できた

母国にいても参加できた

日本語を家族にサポートしてもらいながら参加できた

時間や場所などの制約が少なくなった

より多くの方へのサポートが可能に

### 日本語ボランティア研修会：オンラインによる学習支援

都筑多文化・青少年交流プラザ

「オンラインによる日本語学習支援」を新たに学ぶ取組みを通して、「人と人とのつながり直し」と「新たな教室活動の選択肢」を得ることができました。

#### 〈活動継続のための、オンラインへの挑戦〉

都筑区には7つの日本語教室があり、愛称「つづきMYプラザ」が主体となってボランティア連絡会（ボラ連）や合同研修会を行うなど、教室間のつながりを大事にしてきました。ところがコロナをきっかけに、対面で行う教室やボラ連も、継続が難しくなっていました。

そこで、新たな活動の選択肢として、まずはオンラインシステムで人がつながること、さらにはオンラインによる日本語学習支援も視野にいった講座を行いたい、

YOKKEに相談しました。

#### 〈合同研修会開催〉

ボラ連のみなさんの講座企画の場にはYOKKEも複数回参加し、ニーズ内容を検討しました。そして、2020年11月に日本語ボランティア合同研修会「オンラインでつながる！新たな日本語学習支援を考えよう！（全2回）」の開催にこぎつけました。内容は、ビデオ会議システムの参加方法に始まり、すでにオンラインでの支援を行っている都筑区内外の方の活動紹介など、段階を踏んだ実践的なものです。また、参加者同士での話し合いなど、交流の機会ともなりました。のべ参加者数は約60人でした。

#### 〈自分たちでオンライン講座を主催〉

「この合同研修会がきっかけで、化学反応が起きました」とは、MYプラザ林田館長のお話です。オンラインを活用する心理的・技術的なハードルが下がったことで、12月にはMYプラザとして、教室を超えてボランティア、学習者が集う「オンラインおしゃべり会」を開催。合同研修会での学びを活かして、自分たちだけで企画から開催までできたことに、大きな達成感を覚えました。

この取組みを通じて、日本語教室同士の連携が継続でき、学習支援の新たな選択肢を得られただけでなく、都筑区のみならずとYOKKEとが、互いを身近に感じることができました。

令和2年度 第1回日本語ボランティア合同研修会  
「オンラインでつながる！新たな日本語学習支援を考えよう！」

**第2回  
日本語学習支援にオンラインを活用してみよう！**

2020年11月15日（日）14:00-16:00

主催：都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）  
共催：（公財）横浜国際交流協会（YOKKE）



# 就学前の子どもと親を支える

オンラインで... 直接会って...

## 外国人親子日本語教室を行いました！

外国出身の保護者にとって、ことばや文化の違う日本での子育ては、心細く孤独に感じることも多いでしょう。しかしながら、親子で日本語が学べる場はまだ十分ではないようで、「学びたくても学べない」という声をよく聞きます。YOKEではその状況を改善すべく、これまでさまざまな取り組みを行ってきました。その取り組みの中から、今年度行った日本語教室(オンライン/対面)の様子と、支援者のヒントになりうる各種リソースをご紹介します。



### 外国人親子日本語教室

いろいろな楽しみ方！

オンラインでも、心と体をリフレッシュ！

「おやこでにほんご」  
「オンラインではなそう」

YOKEとしては初めて、オンラインによる親子日本語教室(2020年11月26日・12月3日)を開催し、コロナ禍で外出を控えることも多い外国人の親子に、自宅で気軽に参加できる日本語学習の機会を提供しました。講師は日本語教師で、親子日本語サークルを主催する福村真紀子さんです。子どもと親と一緒に楽しみながら日本語を学べるよう、アイデアを出し合いました。

オンラインはインターネットの環境があれば、場所を問わない便利さがあります。しかし、お互いの声が聞き取りにくい時もあり、特に小さい子どもがいると、集中できないこともあります。そこで、必要に応じて多言語で説明できるように通訳を用意し、子どもの世話をしながらでも参加しやすい環境となるようにしました。

第1回のテーマは「おべんとう」で、色や食品名、料理や食事を使う表現などを学びました。講師が指定する色の物を各自が家の中から探してきて紹介するゲームや、「わたし考えたおべんとう」の絵を描いて紹介し合う活動など、動きのある楽しい時間となりました。

第2回は、「からだ」をテーマに、歌いながら体の部位のことばを覚えたり、親子ヨガで、ヨガ講師の指示を聞きながら体を動かしたりしました。コロナ対策についても、お互いにどのような対策をしているか話しながら、日本語での表現を学びました。オンライン教室というと、パソコンの前

に長時間座るイメージがあるかもしれませんが、オンラインならではの活動を取り入れながら、活発な動きもある楽しい教室になりました。

「直接会って、楽しく触れ合う！」  
「おやこでにほんご」  
「つるみではなそう」

鶴見国際交流ラウンジでも親子日本語教室を計画し、同ラウンジで活動している「外国人親子カンガルーサロン」のスタッフの方々の協力を得て、コロナ対策にも十分気を付けて実施しました。

第1回(12月7日)は、「おでかけ」というテーマで、挨拶やお互いを知るための日本語を勉強しました。数字の数え方やじゃんけんの仕方など、国による違いを紹介したり、手遊び歌や読み聞かせも取り入れ、子どもも楽しめるような工夫をしました。後半はクリスマスマスのに向けた作業しながら、物の貸し借りのためのやりとりなども実践しました。

第2回も予定していましたが、参加申込みのあった皆さんの都合が悪くなり、スタッフで振り返りと情報交換の会を行いました。就学前の子どもと親が日本語、保育園、幼稚園や学校のことを知る機会の必要性を再確認し、講座の内容、開催時期などについて話し合いました。

### 参加した保護者の声

- ・子どもと日本語で遊ぶゲームが知りたい
- ・日本の文化を知れてよかった
- ・いろいろな国の人に出会えて嬉しかった
- ・このような授業をもっと開催してほしい

就学前の子どもとその親が学べる場を、今後より広げていくことが望まれます。



オンラインでも、同じように楽しめるのね！



(上) オンラインではヨガを取り入れながら、身体を動かし楽しみました。  
(左) 鶴見国際交流ラウンジでは、絵本の読み聞かせの時に子どもが駆け寄る場面も。このようなコミュニケーションは対面ならではの。

### ふたつの「おやこでにほんご」

同じテーマでの活動もできます！それぞれのメリットは？

#### オンラインで参加すると・・・

外出しなくても家で参加できるので安心。子どもがぐずっても周りを気遣わなくていい。同居する家族がサポートしてくれることも。



#### 会場で参加すると・・・

直接会えるとコミュニケーションもとりやすい。子ども同士で遊ぶこともできる。参加者同士、休憩や終了後も話ができる。



## どのように支援をしたらいい？ 各種リソースの紹介

YOKEホームページでは、就学前の子どもと親の支援を充実させるための各種リソースを無料で公開しています（下記QRコード参照）。

### ● おやこにほんごタイム活動ネタ集

「おやこにほんごタイム活動ネタ集」は、さまざまなシーンでの日本語を、子育てに必要な情報と絡めながら学べるよう作られた教材です。今回の親子日本語教室でも活用しました。

例えば「お弁当」では、色別に分けられたおかずのイラストを使用し、お弁当づくりに体験ができるようになっていきます。また、教室を進める上でのヒントや展開例も載っているため、さまざまな教室で使うことができます。ほかに、「病気・病院」「保育園・幼稚園」「年中行事」などのテーマがあり、就学前のお子さんと親にとって必要な日本語に関する情報が得られます。



### ● 外国人親子のための支援調査報告書

さらに、「横浜で生活する就学前の外国人親子のための日本語学習支援・子育て支援調査報告書（2014年・YOKE）」では、就学前の子どもと親に、どのような支

援、課題があるかなどについてまとめています。今後も支援者の皆さまと意見交換をしながら、より充実した環境をつくってきたいと思っています。



YOKE ホームページ「就学前の子どもの支援」から親のこちらへ



### 切れない支援のために 学習支援教室活動ヒント集

子どもが小学校に行くようになると、日本語学習がますます必要になります。そこで、YOKEでは、主に小学校入学以降の子どもを対象とした「外国につながる子どもの支援事業」で、支援に役立つ資料を作成しています。

みんなどうしてる？  
外国につながる子どもの学習支援教室  
活動ヒント集

YOKE ホームページにて公開中。  
Q & A形式を取り入れ、はじめての方でも具体的なイメージが掴めるような構成になっています。

「みんなどうしてる？」外国につながる子どもたちの学習支援教室活動「ヒント集」は、横浜の支援者の皆さんの工夫やアイデアをまとめたものです。教室ごとの様々な活動を共有することで、より良い活動のヒントとなることを期待しています。現在学習支援をしている方も、学習支援を始めてみたいという方も、ぜひご覧ください。

## ボランティアを始めてみたい！



横浜市の外国人住民数は約10万2千人（2021年1月末現在）。日常生活でも外国人と接する機会が増え、日本語でのコミュニケーションがますます大切になっていきます。そのような状況を支えているのが「日本語ボランティア」の存在です。あなたも、日本語で地域をつなぐ支援の一歩を踏み出してみませんか？

### 日本語ボランティアって、何を するの？

地域で暮らす外国人に、生活に必要な日本語を教えるのが主な活動内容です。また、生活面での相談にもするなど、学習者のニーズに寄り添った支援を行う傾向にあります。横浜市内には、主にボランティアが担う地域の日本語教室が約140教室（YOKE調べ）あり、規模や活動内容は教室によりさまざまです。ことばの通じない環境で暮らすことは外国人にとって心細く、気持ちを共有できる友達を作りたい人も多いでしょう。やさしいまなざしと笑顔で接することで、相手の不安を和らげ、友達のような存在になることができます。

### 日本語ボランティアになるため には？

参加の条件は教室によって違いがありますが、活動を始める前に、「日本語ボランティア講座」の受講経験を重視する教室が多くあります。（講座は、国際交流ラウンジや区などで開催されます）教室はさまざまな国の方が参加することで、日本語が共通のことばとなることも

多く、「わかりやすい日本語」が役に立ちます。また、異文化への理解を深めながら仲間もできるなど、世界をひろげるきっかけになります。ボランティア活動に興味のある方は、受講してみると良いでしょう。

やさしい日本語って、なんだろう？



### 日本語ボランティアの魅力とは？

何といっても、いろんな国の方と出会えることです。お互い違うことば、文化を持っているからこそ気づかされるものがたくさんあります。地域に暮らす住民どうしが集い、教え合い、学び合うことはとても素晴らしいことです。皆さんも、様々な文化・背景を持つ方々と触れ合える、日本語ボランティアを始めてみませんか。

### 学習者から学んだこと・エピソード3選

**漢字の覚え方が面白い！**  
「駅」を分解して「馬」+「JR」と覚えていました。  
なるほど。

**日付の表記方法の違い**  
「5/4」とメモを渡したところ、「4月5日」と、月と日を逆に受け取られてしまった。  
習慣が違うと、生活する上で戸惑うだろうな...

**日本人と友達になりにくい!?**  
「日本人は親切ですが、友だちになりにくく距離を感じます。寂しいです」と言われた。  
外国の方は、孤独感を覚えやすいのかな

これからも、ボランティア活動に必要な情報などについて、より詳しく掲載していきたいと思えます。どうぞお楽しみに！



# にほんご べんきょう 日本語を勉強する…「どこで?」「どうやって?」

にほんご べんきょう やくだ じょうほう  
日本語の勉強、お役立ち情報 Vol. 4

## オンラインで日本語が勉強できるサイト

インターネットの環境があれば、家でも日本語の勉強ができます。  
全て無料の日本語学習サイトです。



### つたえる はつおん

日本語の発音について  
学べるサイト

<http://www.japanese-pronunciation.com/>



気持ちをきちんと伝えるための、発音が学べる日本語学習サイトです。まずは、10問の問題にチャレンジ! 「何をどのように練習すればいいのかわかります。練習方法は動画でも確認ができるので、とても分かりやすいです。くわしい使い方は、ホームページにある「サイトのつかいかた」動画をチェックしてください。YouTube チャンネル「つたえるはつおん」もあります。

出典 つたえる はつおん 制作チーム  
Source: Team Tsutaeru Hatsuan

### にほんご たどく

楽しくたくさん読んで、  
日本語力をアップ!

<https://tadoku.org/japanese/>



多読とは、「やさしいもの・自分の好みにあったものを、自分のペースでたくさん読む」という勉強方法です。辞書を使わずに絵を見ながら、本を楽しめます。たくさん読むことばと場面に接することで、だんだん漢字にも慣れ、日本語が身につきます。「にほんご たどく」には、無料の読みものがたくさんあります。多読のはじめかたは、ホームページを見てください。

出典 NPO 法人多言語多読  
Source: NPO Tadoku Supporters



あらた  
新しくなった「日本語・学習支援 教室データベース (横浜)」で…  
あなたにピッタリな日本語教室を探そう!

より使いやすくなりました♪

スマホでも見やすい♪



よこはま ない  
横浜市内にある日本語教室・学習支援教室が探せるウェブサイトが、新しくなりました!  
約 140 件の教室を見ることができます。\* デザインなど変わる場合があります

URL: <https://yokoweb.jp/>



\* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教室開催を延期/中止している場合があります。各教室にお問い合わせください。  
In order to prevent the spread of the new corona virus infection we might reschedule or cancel classes. Please contact the respective classes.

いえ ちか  
家の近くがいいな…

かいしゃ ちか  
会社の近くがいいな…

⇒区や路線を選んで探してみよう!

こ といっしょ さんか  
子どもと一緒に参加したい…

へいじつ よる かよ  
平日の夜に通いたい…

⇒「詳細検索/Detail Search」で見つけてみよう!

詳細検索 / Detail Search	
主な対象者(学習者) / Eligibility	<input type="checkbox"/> 大人 / Adult <input type="checkbox"/> 子ども / Child <span style="float: right;">リセット / R</span>
時間帯 / Time	<input type="checkbox"/> 平日午前 / AM on weekdays <input type="checkbox"/> 平日午後 / PM on weekdays <input type="checkbox"/> 平日夜 / Weeknight <input type="checkbox"/> 週末(土日) / Weekend
保育など / Child-care etc.	<input type="checkbox"/> 保育あり / Child-care <input type="checkbox"/> 子連れ可 / Parents with their children are possible
教室名 / Name of class	<input type="text"/> 教室名を入力してください
キーワードでさがす / Search by keyword	<input type="text"/> 教室名・曜日・LPT など
指導スタッフ募集の有無 / Recruitment of volunteer staff	<input type="checkbox"/> あり / Available <input type="checkbox"/> なし / None

# TOPIC

## もしもの時のために…「災害時ヘルプカード」を持ち歩こう！



<p><b>1 わたしのこと</b> Personal Information</p> <p>カタカナ 名 姓 フルネーム Full Name</p> <p>カタカナ 住所 Address</p> <p>Tel.</p> <p>性別 Center Gender</p> <p>血液型 Blood Type</p> <p>年齢 Age</p> <p>誕生日 Date of Birth</p>	<p><b>2 わたしのこと</b> Personal Information</p> <p>母語 Native Language</p> <p>日本語 Japanese</p> <p>病気 Disease</p> <p>いつも飲む薬 Medicines I take</p> <p>よく行く病院の名前 Hospital</p> <p>その他 Other</p> <p>健康カード No. Health Insurance Card No.</p> <p>パスポート No. Passport No.</p> <p>健康保険証 Health Insurance Card No.</p>	<p><b>3 わたしのこと</b> Personal Information</p> <p>病気 Disease</p> <p>いつも飲む薬 Medicines I take</p> <p>よく行く病院の名前 Hospital</p> <p>Tel.</p> <p>健康カード No. Health Insurance Card No.</p> <p>パスポート No. Passport No.</p> <p>健康保険証 Health Insurance Card No.</p>	<p><b>4 日本国内で連絡できる人</b> Contact in Japan</p> <p>名前 Name</p> <p>関係 Relationship</p> <p>Tel.</p> <p>E-mail</p> <p>名前 Name</p> <p>関係 Relationship</p> <p>Tel.</p> <p>E-mail</p>	<p><b>5 他にも伝えておきたいこと</b> Other things I want you to know</p> <p>【旅行】 社会福祉法人さばうと21 Support21 Social Welfare Foundation 東京都葛飾区上大崎2-12-2スズビル6階 03-5449-1331 info@support21.or.jp</p> <p>【デザイン協力】 NPO法人プラス・アーツ、文平組 ※カードは、エドワーズライフサイエンス基金の助成を受けて作成されたものです。</p>	<p><b>6 災害時ヘルプカード</b> Disaster Emergency Message Dial</p> <p>119 消防署 Fire Station</p> <p>110 警察署 Police Station</p> <p>171 災害時ヘルプダイヤル Disaster Emergency Message Dial</p> <p>災害の時、自分の「ふし」を知らせることが できます。被災者の「ふし」が確認できます。 In case of disaster, it's helpful for people whose people safety and check the safety of your family and friends.</p> <p>よくおん Recall 思い出の項目 Project</p> <p>思い出の項目 Project</p> <p>思い出の項目 Project</p> <p>思い出の項目 Project</p>	<p><b>災害時ヘルプカード</b></p> <p>地震ITSUM 社会福祉法人さばうと21</p>
---	---	--	--	---	---	---

おもてめん じぶんじょうほうか こ  
表の面：自分の情報を書き込みます

うらめん しりておく と べんりな じょうほうが 書いてあります

### さいがいじ 災害時ヘルプカードって？

地震や台風などが来て困ったときに、「自分についての情報」を人に伝えることができるカードです。

### こんなときに、役に立ちます

地震や台風、水害など、自然災害が起きたとき  
急な病気や事故などで、自分のことを伝えたいとき

### どんなふうに、使うの？

名前・住所・家族や友だちの連絡先などを書いておき、お財布などに入れておきます。日本語が上手に話せなくても、このカードを見せるだけで、あなたの情報が伝わります。



さいがいじ 災害時ヘルプカードは、右のQRコードからダウンロードできます。印刷してから使ってください。

さばうと21 社会福祉法人さばうと21  
Support21 Social Welfare Foundation

<https://support21.or.jp/>

### せいかつ やくだ 生活お役立ちコラム

あなたのことばで伝えてください

→ 救急車が必要なときは、「119」に電話をしてください。  
→ オペレーターに、「救急」であることを伝えます。  
→ つづいて、「症状」「住所」などを伝えます。  
→ 救急車が来るのを待ちます。

きゅうけがやびょうきのとき、きゅうけがしゃを呼びたい！  
でも…どうしたらいいかわかりません！

### 救急車利用ガイド（多言語対応）

電話のかけ方、どのような情報を伝えるかなどが、くわしく書かれています。ダウンロード→

救急車を呼ぶと、お金がかかりますか？  
外国人でも利用できますか？  
救急車が来るまでに、何を準備しておく？

無料です！（病院では診察料がかかります）  
もちろん利用できます！  
パスポート、現金/クレジットカード、ふんのかずりほけんしやうも 普段飲んでいる薬、保険証（持っていれば）

救急車利用ガイドは、英語、中国語（簡・繁）、韓国語、イタリア語、フランス語、タイ語があります。もしもの時のために、ダウンロードしておくとうれいでしょう。  
\*救急車は、日本に住んでいる外国人だけでなく、旅行で来た家族や友だちも利用できます。

救急車利用ガイド出典：総務省消防庁  
Source: Fire and Disaster Management Agency

**こまったときは**  
横浜市多文化共生  
総合相談センター

045-222-1209  
t-info@yoke.or.jp

げつようび きんようび  
月曜日～金曜日  
10:00～17:00（受付は16:30まで）  
だい だいいち とうりつ  
第2・第4土曜日  
10:00～13:00（受付は12:30まで）

横浜で暮らしている外国人から、11の言葉で相談を受けます。  
相談は0円です。区役所などと電話をつないで、相談もできます。

つながる  よこはま



No. 04  
2021. 3 月



# にほんごコミュニケーション

Yokohama NIHONGO Support Center

にほんごばん  
<やさしい日本語版>

## TOPIC

さいがいじ も ある  
「災害時ヘルプカード」を持ち歩こう！

せいかつ やくだ  
● 生活お役立ちコラム：  
きゅうきゅうしゃ よ  
救急車を呼びたいとき、どうする？

にほんご べんきょう  
● 日本語を勉強する「どこで？」「どうやって？」：  
つたえる はつおん  
にほんご たどく



にほんご べんきょう かた  
日本語を勉強したい方は、  
よ  
こちらからお読みください



はっこう にほんご がくしゅう しえん うんえい こうえきざいだんほうじんよこはましこくさいこうりゅうきょうかい  
発行：よこはま日本語学習支援センター（運営：公益財団法人横浜市国際交流協会）  
よこはましにしく よこはま まこはまこくさいきょうりょく ない  
〒 220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター 5F YOKE 内  
でんわ 電話 045-222-1173 FAX 045-222-1187 MAIL c-nihongo@yoke.or.jp